

刊夕日十月十

常新日新聞

日 刊

本社 東京市千代田区外神田三丁目三番地
 電話 五五五〇
 行先 東京市外神田三丁目三番地
 電話 五五五〇
 印刷所 東京市外神田三丁目三番地
 電話 五五五〇

或る日の會話 (三)

眞 繼 雲 山

凡 して人間様は？

佛 お前の自心に聴いたら分るぢやうらう。お前は毎日、何に生きてをるかあーん。

凡 左様でございますなア

佛 苦惱もあり欲求もあり本能もあり、闘争もありエへ、時に美人を枕になんていふ歡樂もありませんで……ハイ。

佛 さうか、丸で六道兼任ぢやうの、忙しいのに御苦勞千萬ぢや。それで何か、今少し上等な心の持ち合せは無いか。

凡 へい……。黎明の鐘を聞いたり、中空の月を仰ぐ時には、時をり自分ながら何とも言ひ知れぬ不思議な心境を感ずることも御座います。

佛 ふうむ、人間の口先で説明のつく限りは人間の計度に外ならん、如何にも言ふことの出来ぬ不可思議なものか、觸れた時は、それは慥かに人間でない別の世界を歩んでゐるのぢや、まさにそれは鬼畜の心境でもあるまい、少く共それが四聖に近い境涯ぢやと思へ凡 へへー……。私にも

そのやうな勿体ない種があるものでせうか。

佛 有るべき道理ぢや。佛教では十界互具といふてのう、十界をめぐりに十界の性を具すると見る。さうしてお前たち人間はザツとその中間に立し、どちらへでも行く十字路に立つてゐるんぢや。それ故お前の心には佛の種もあれば畜生の性もあるそこでぢや。地獄にも佛と成るべき種があり、佛も地獄の性を具する。地獄に入るべき自由性ありて而かも地獄に墮せざるが佛ぢや。

ナニ、佛とて餘の儀ではない、人間がモウこれ以上に登るべき道はないといふ無上道といふに到達したものを佛といふんぢやから、佛も昔は凡夫なり、お前も悟れば佛と成れる。そこまで行き得ずに羅漢に成つたり菩薩に成つたりといふのは上等の人間で、時には地体の人間にまで退落するからこそ人間といはれるんぢや。追落せざれば、それがそのまゝ正銘の羅漢であり菩薩なんぢやからし

初九先生慰問句集 (三)

在満洲第二師團軍醫部長 龜井盛隆閣下慰問句集

渡邊 何 鳴 抄

子を寝せてほころび縫へり灯取虫貞
 燈取虫に足ならべたる男の子かな 同 鯨鯨子
 寝しづるまる室に荒れ居り灯取虫
 せらぎを聞く山宿や灯取虫 同
 撞く球の狂ひまるびぬ火取虫 同 松 露
 草多き小窓に灯虫うちけり 同 青 年
 灯取虫灯廻りきてうたれけり 同
 いねがての灯に狂ひけり灯取虫 同 しげ 女
 灯取虫羽鳴り聞いて來りけり 同 鬼 子
 街灯の柱に灯蛾の群れつよし 同
 食卓にもられし花や灯蛾舞へる 同 瑛 女
 マーヂヤンに興する人や火蛾とぶ 同
 船宿や火取りの虫の多きこと 同 丁 石
 月に更け火取りの虫も逐ひやらず 同

て又同じ人間でも年中餓鬼や畜生に成り下つてばかりゐる女がある、それが下等の人間……いやさそれをそのまゝ、人面鬼畜の類といふんぢや、生きながら餓鬼や畜生に成り下つてをる、淺ましい限り

凡 如何いたせば上等の部に成り上ることが出来ませうか。

佛 心がけ一つぢや、道を求めて漸々に向上し修行すればよい、それを上求菩提といふんぢや。(終)

麻雀開業披露

皆様の御勧めに依り今回左記の所に麻雀を初めました、多数御出でを御待ち申上げて居ります

一、場所 平町新田町湖月前

一、料金 第一位無料 二位五錢 三位十錢 四位十五錢

▽初心者の方には無料にて御教へ致します

平和俱樂部

時計の

修繕なら……平額

平野前通り 星野時計店へ

◇時計、眼鏡廉賣店
 ◇硝子入無料券進呈

サロンの黒ビール

レストラン サロン

電話三五二

秋深きころ

新築福壽軒で是非御試食を

静かで 味覺は 明るく モダン

◎田町……丸新デパート角へ開店
 ◎御同伴のお方へ小座敷設備

西洋料理 支那料理 牛鳥なべ

福壽軒

電話二十八番

貸切は……

セダン揃ひで！
 貸切専門の！

昭和タクシー

電話三四三三

専門産科

婦人科 花柳病科

◎入院應需

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

小兒保險加入者は 多く中流生活

成績は意外に良好

健康相談所も實現近し

去る一日より施行された小兒保險は平郵便局保險係員總出勤で各方面を勧誘中であるが既に

加入口數 二〇八
金額總計 一五圓二十錢

に達してゐるが之ら加入者の大部分は中産階級に屬する俸給生活者が多く成績は意外に良好でこの分ならば簡易健康相談所の設置も實現されるでないかとみられてゐるが口數の割合に金額となつてゐるので今までの加入者中

最高は一圓から最低

銀鱗のひらめき

淡い月夜の河上

秋

さ、やく戀びと

朝の青北風、眞晝の高西風、夕の眞東風——いよいよ秋釣りの季節となる、沖の鱸、鯖、鰯、海鰻、川の鮎、丸太、さては落鮎、紅葉鮎と、街のアングラータるもの、魚籠を携へて仁井田浦へ、水の出たあと

コンデションをねらつて出かける
夏井川下流から仁井田浦

夏井川下流から仁井田浦の釣り場である、先づ南風のあたり、かい沙魚日和、北風の微風の鮎日和、朝のまづめ(黎明)から正午まで遅

日中ならば赤朱の太陽の下、夕なれば霧の中、夏井川や仁井田浦の青蘆を分け淡潮の香にひたつて、秋天一碧、水に連り、風にくしけづられて秋の肺臓を洗ひ徐ろに、ぐ、ぐといふ魚信を待つ——それはおよそ釣禪一如といつた境地

銀河が段々深くなる時分

かかれら魚と一糸の鬮争に愛着を感じる、綸糸が鳴つて腕がなる、スポーツである、それ、魚の習性に慣れて、釣りも戀では觸覺における戀となる

四千二俵の増加である
石城五萬九千六百五俵
双葉四萬六千九百二十四俵
相馬九千七百四十二俵

磐城丸の修理計劃

明年二萬圓で

本縣水産試験所々々の磐城丸は昨年八千圓を以て修理したるも舊式にして現今の遠洋漁業船として時代遅れであるので明年度において二萬圓を投じ大修理をなすべく目下計畫中である

萬難を廢して 防波堤工事竣工

中の作部落民狂喜亂舞

協力一致遂に決行

石城郡江名町大字中ノ作海岸の防波堤築造工事は同字坂部万藏氏外二百名の部落民が 工費一万二

千百廿圓を以つて協力何等の補助も受けず全くの獨力にて昨年十二月廿六日より着工爾來萬難を廢し長さ八

くも午後二時には氣のさいた釣人は歸り仕度をする、ものによつては夕方のまづめに釣る

下、夕なれば霧の中、夏井川や仁井田浦の青蘆を分け淡潮の香にひたつて、秋天一碧、水に連り、風にくしけづられて秋の肺臓を洗ひ徐ろに、ぐ、ぐといふ魚信を待つ——それはおよそ釣禪一如といつた境地

銀河が段々深くなる時分

九間の大堤防を工事中であつたが昨日漸く此の難事業の竣工を見たので本日平土木監督所に竣工届を提出したが是れが

赤井村長問題

一揉めか

提携が注目

石城郡赤井村々長後任問題は過般の縣議戦に同村より草野三郎氏が立候補した爲め村内に微妙な動きが生じたが同問題は愈々近く決定すべく明十一日村内有力者は同村役場内に會合し協議する筈であるが僅少の差で敗れた草野氏出馬最も有力になりつゝあるが若ら若松美三氏を返り咲させんとする一派もあつて相當紛糾

役場移轉委員會

来る十二日協議

組合新設さる

平町役場の舊商業學校舎への移轉に就いては豫てより建築委員會にて種々協議されて居るが十二日午前十時町役場會議室に各委員を招き集新舎の模様替及び入札者指名決定によるうち合會を催す

石城養蠶組合では豫てより養蠶實行組合の設立を獎勵中の處既報の如く石城郡川部養蠶實行組合が成立せるに刺戟されて平町の各養蠶當業者間にも設立の氣運を見て居たが最近急に具体化し八日平町役場會議室にうち合會を行つた結果平町養蠶實行組合が成立され左の諸氏が理事に選任された

酒井猶次、青木基平、鈴木惣五郎、鈴木勝一

海軍志願兵 昭和七年度に於ける横須賀鎮守府の海軍志願兵検査所を決定する様平第三小學校にて行

本日回答を發した
土地買収に
地主側強硬
湯本町當局
行惱みの態

去る九月月上旬より着工した石城郡湯本町上水道工事は委託工事として着々進捗中であるが町直營工事たる内郷村綴ガード下より傾城山配水池に至る道路の新設に伴ふ一部土地買収は地主側の折合つかず町當局でも困つてゐるが萬一工事着手までに依然地主側が反當り

平町養蠶實行組合新設さる

組合新設さる

石城養蠶組合では豫てより養蠶實行組合の設立を獎勵中の處既報の如く石城郡川部養蠶實行組合が成立せるに刺戟されて平町の各養蠶當業者間にも設立の氣運を見て居たが最近急に具体化し八日平町役場會議室にうち合會を行つた結果平町養蠶實行組合が成立され左の諸氏が理事に選任された

平町養蠶實行組合新設さる

組合新設さる

酒井猶次、青木基平、鈴木惣五郎、鈴木勝一

海軍志願兵 昭和七年度に於ける横須賀鎮守府の海軍志願兵検査所を決定する様平第三小學校にて行

酒井猶次、青木基平、鈴木惣五郎、鈴木勝一

海軍志願兵 昭和七年度に於ける横須賀鎮守府の海軍志願兵検査所を決定する様平第三小學校にて行

去る九月月上旬より着工した石城郡湯本町上水道工事は委託工事として着々進捗中であるが町直營工事たる内郷村綴ガード下より傾城山配水池に至る道路の新設に伴ふ一部土地買収は地主側の折合つかず町當局でも困つてゐるが萬一工事着手までに依然地主側が反當り

平町人事

婚 姻

死 亡

△新川町一當時東京府下豊多摩郡落合町 馬目トク(七七)
△立町五三 當時京都市上原區田中大久保多崎一太郎(七五)
△鎌田町二七 瀧田龜藏(四三)

出身若松中佐の手記

滿州事變に於ける 騎兵第二聯隊情報

△一般の情況

九月一日以來公主嶺附近は依然として日夜匪賊の横行に惱され町民一般に安堵の思をなす能はず日時を經過しありしに九月十八日夜半突如として支那軍隊の爲我南滿洲鐵道を爆破せられたるの報傳はるや皇軍は疾風迅雷的に出動し到る處戰勝を博すに至る之れ即ち今次滿洲事變たり

△騎兵の出動情況 九月十九日午前二時卅分出動準備の命令を受領するや聯隊は警急準備を爲し出發準備をなす午前七時營門を出發せんとするや居留民側より支那町公安隊の武裝解除の懇望あり且大部分の軍隊出動後治安維持の必要上直に

決心をなし公安隊等の武裝解除をなす、午前八時卅分停車場に至り人馬材料の搭載し長春に向ふ、午前十一時四十分長春旅團長谷部少將より歩兵第四聯隊は寛城子を攻撃之を占領せるも南嶺は未だ占領するに至らず苦戦中なるもの、如く直に南嶺の敵を攻撃すべき命令を受領し聯隊は南嶺に向ひ急進す、南嶺を攻撃したるは歩兵第四聯隊の二中隊及獨立守備歩兵二中隊にして之れと連絡し先づ砲門を占領し且敵を掃蕩し午後四時完全に占領したるを得たり、茲に多數の敵彈を見舞はれたるも天祐なるかな我聯隊に死傷者なし、同夜長春歩兵第四聯隊に宿營廿日長春附近の敵情搜索。

決心をなし公安隊等の武裝解除をなす、午前八時卅分停車場に至り人馬材料の搭載し長春に向ふ、午前十一時四十分長春旅團長谷部少將より歩兵第四聯隊は寛城子を攻撃之を占領せるも南嶺は未だ占領するに至らず苦戦中なるもの、如く直に南嶺の敵を攻撃すべき命令を受領し聯隊は南嶺に向ひ急進す、南嶺を攻撃したるは歩兵第四聯隊の二中隊及獨立守備歩兵二中隊にして之れと連絡し先づ砲門を占領し且敵を掃蕩し午後四時完全に占領したるを得たり、茲に多數の敵彈を見舞はれたるも天祐なるかな我聯隊に死傷者なし、同夜長春歩兵第四聯隊に宿營廿日長春附近の敵情搜索。

まよひにスピード脅怖時代!!! 運轉手の過勞が主因

縣内第一位の自動車事故

營業主と 運轉手の 違つた云ひ分

平橋事局の市川檢察は「當地に赴任以來特に目立つたのは自動車事故の多い事である」と云つて居るが事實最近に於ける

自動車

の交通網發達と共に平署管内のみの車臺數だけでも乗用百一臺、貨物六十七臺、此外植田や四倉管内の分を合算すると優に三百臺以上の自動車郡内の凸凹道を巴と飛び廻り引ッ切りなしに事故を起す、來月四日から車臺検査に際し營業主へ配附すべく今度平署が調製した前年度内の管内に於ける

事故調

べに依ると總件數が卅四件で縣下の第一位を占めて居り其の原因を内譯すると

- 一、汽車と衝突二、無免許運轉に因る一、自動車追越行途四、道路橋梁の破損三、街角街路雜沓場所二人馬車追行途四、小兒飛出し又は道路遊戯六、坂曲角橋上斷崖にて一、乘客通行人不注意一、ブレーキ不能に因る一、自轉車の飛出し行途九
- 等であつて是れが爲めに致死したるは六、傷害卅五、物件損害五を數へて居る、

過勞

の結果圖らずも事故を招く場合が多いやうである。營業主は忙しさの餘り酷使するのではないかと語られた、是れに依つて營業主側の談を聞けば酷使ではないのです、若しものから夜遊び等をやつて睡眠不足の眼をこすりながらハンドルを握ると云ふ様な場合が多いものですから相當の注意を欠いてトング事を仕

憧れのトラビストへ

少女がひとり家出

途中小名濱に寄つたか

父が平署へ取押へ願ひ

東京府下葛飾郡吾嬬町六丁目四會社員白土佐學(○)の長女絹子(九)はキリスト信者であつたが最近

途を悲觀し常に北海道の修道院に入れて呉れと父に願つて断られて居た處五日朝無断家出し北海道へ行くと置手紙を残したので父親は

神谷高齢者招待

石城郡神谷村小學校では十日同校庭に秋期大運動會

を行ふが當日は青年團青年訓練所生等も出場する外同村の九十五才以上の高齢者を全部招待すると

縣下兒童

下球大會

あす雨天なら延期
縣下兒童ソフトボール大會は明日午前十時から磐城中等學校グラウンドにて開催されるが雨天ならば延期されると

草群の中に

自轉車遺棄

時節柄重大視

石城郡赤井村大字鹽田字北澤大平昭治(○)は七日正午頃夏井川魚釣に出掛段々上流に登り上小川大字高崎地内同沿岸を歩いている程傍の叢に平四七〇八號と記した自轉車を發見本日平署へ届出たが自轉車盜難の多い折柄被害者は間もなく知れるだらうと

佑賢辯論大會

平町佑賢學舎では來る廿四日秋季辯論會を開催するが一般の傍聴を歓迎すると

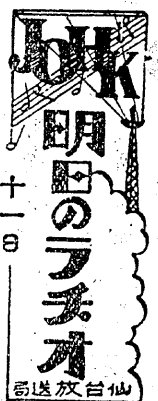
時節がはりて

傳染病増加

毎日三四名宛

平署注意書を

平町町七〇鈴木トシ(○)南町中井ツル(○)の兩名は昨日赤痢病患者としていづ



明日のラジオ

報豫氣天

今晩は北よりの風強く曇り明日は北西の風晴れる見込

告生爾相場

明日の部

- 後六〇〇(子供の時間) 童話「犬の行方」櫻葉勇
- 後六三〇 英語講座「中等科」(第二講の六)「トライエル」
- 後七三〇 講演「日蓮聖人の宗教」酒井日慎
- 後八〇〇 長唄「七面天女」杵屋たね 其他
- 後八三〇 但謡「身延音頭」其他
- 後九〇〇 ラヂオドラマ「法難の一節」沙見洋他
- 後九四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫
- 後一〇〇〇 獨唱植村輝子
- 後一〇〇〇 ピアノ獨奏 酒井多可子

食事も與へず 虐待する抱主

酌婦二人其筋へ泣込む

吉川橋

竣工近し

延人員五千

昨夜八時頃平署へ二名の酌婦が來り主人が餘り虐待するからと泣込んだが同人等は石城郡内郷村字綴飲食店小松屋事佐久間義治方の酌婦茨城縣太田町生れ平井ナミ(○)小林トリ(○)の兩名であるが昨年春から前記小松屋に働いて居る裡いづれもいまいましい病にかかり仕事が出来なくなつたので主人は三度の食事も満足に與へぬので兩名謀し合せ其筋の力で抱主に説諭して戴き度いと申出た

工費一萬五千圓を以て縣補助工事として着工した石城郡泉、小名濱間縣道藤原川に架設された吉川橋は近々竣工の運びにあり延長六十二メートル申五メートル九〇の鐵筋コンクリート橋の完成を間近に石城郡下のモダン橋として交通上一般から頗る期待されてゐるが同橋梁架設に當つては地方失

郡青年代表

けさ壯途へ

一行廿余名

第八回縣聯合青年團體大會は明日一日白河中學校庭にて開催されるが本郡青年代表選手草野仁外十九名は西山團長、田子選手監督引卒し本日午前八時五十分平發列車にて壯途についた

磐銀債權者會

平町磐城銀行の第三回債權者大會は廿一日午前九時から平區裁判所で開く

石城蘭取引狀況

△四倉蘭市場(九日) (白蘭)四七四貫(最高)三圓二十一錢(最低)二圓八十錢(馴)三圓

小説 七五郎

(五十七)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

櫻散る夜 (1)
「はい、長まりました」

と、くはへ煙管で黙つて開いてゐた筒袖着の傳兵衛が黒い顔でにやりと笑つて、「無理はねえだよ、奥さまはまだ齡が若えだから、あんだつて大旦那とは二十の餘も違ふべ。煙の物だつて手入が悪けりや虫がつくだ、アハ……」

「あれ、お前、何を云つておるだよ、餘計な口だ、黙つておるで。」

婆さんは傍から手で制して睨みをつけた。

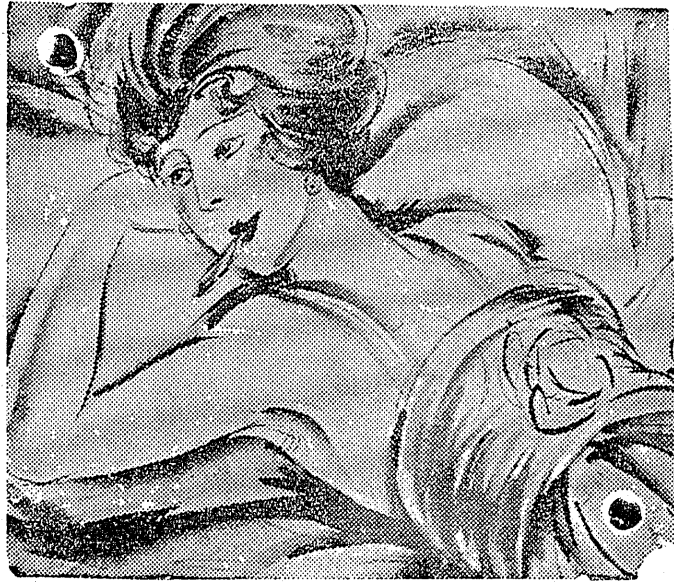
「爺さん、なか／＼粹なこと言ふね。然し俺は何にも岡焼なんかするんぢやないよ、これにはちつと考へがあるんで、何に奥様のため大旦那の爲め、俺はいろいろ心配して居ることがあるんで、たゞ今夜の男の何人たるやをさへ知つて置けばよいのぢや、婆さんにも頼んだが爺さんも一ツ力添へをしてお呉れよ。いゝか頼んだよ」

「ハイ、宜しうございますとも、屹度悟られないやうにお客のお顔ををがんで置きますよ畏りました。」と正直な婆さん、御禮の

百萬遍も言つて承知しきつて居りました。

フレーヤ俱樂部の二階に華やかに裝飾された密室があった。

寢床の上に今美しい人が横たはりつゝ、白い肘をくの字



に天井から吊した印度風の燈籠を見上げて細巻の紙巻を煙かしてゐる。その傍の椅子に額をおさへて惱ましげにじつと蹲つた男が源之助であつた。

「ちよいと、如何したのさクリーンさん、早くお寝つてば、話があるんだからさ

……がいやになつたの、先刻の藝者さんのことを想ひ出したの、そんなに水ばかりガブ／＼飲むとお魚になつて仕舞ますことよ。」

「ひ、咽喉が渴けば水も飲むさ。俺だつてまだ生きてるんだ。」

「もう、生きてるの、生きてたら、最つと元氣をお出しなさいよ。虎の子の跳廻るやうにさ。あたし牛の様

な人は嫌ひよ。」

「牛でも馬でも何でもいゝまア黙つててくれ、うるさ

いから、うるさいから。」

「なに、うるさい、へえお鏡舌をしちやい

けないの、私の話が氣に入らないの……」

「いや、さう云ふ譯ぢや……」

「だつてうるさけりや俺あちらに行きますわ。何にも

そんなに厭がられる人の傍に居ちや反つて御迷惑です

からねえ……」

窓紗を見詰めてゐた。彈丸のぬけ切つた體はぐつたりと椅子に吸着いて微動もしなかつた。

「あなた、何を鬱ぎ込んでいらつしやるの、如何したの、先刻から印度の象みた

いにガブ／＼水ばかり飲んでさ、ア、何かつた。俺

がいやになつたの、先刻の藝者さんのことを想ひ出したの、そんなに水ばかりガブ／＼飲むとお魚になつて仕舞ますことよ。」

「ひ、咽喉が渴けば水も飲むさ。俺だつてまだ生きてるんだ。」

「もう、生きてるの、生きてたら、最つと元氣をお出しなさいよ。虎の子の跳廻るやうにさ。あたし牛の様

な人は嫌ひよ。」

「牛でも馬でも何でもいゝまア黙つててくれ、うるさいから、うるさいから。」

「なに、うるさい、へえお鏡舌をしちやいけないの、私の話が氣に入らないの……」

「いや、さう云ふ譯ぢや……」

「だつてうるさけりや俺あちらに行きますわ。何にも

そんなに厭がられる人の傍に居ちや反つて御迷惑です

からねえ……」

窓紗を見詰めてゐた。彈丸のぬけ切つた體はぐつたりと椅子に吸着いて微動もしなかつた。

「あなた、何を鬱ぎ込んでいらつしやるの、如何したの、先刻から印度の象みた

いにガブ／＼水ばかり飲んでさ、ア、何かつた。俺

がいやになつたの、先刻の藝者さんのことを想ひ出したの、そんなに水ばかりガブ／＼飲むとお魚になつて仕舞ますことよ。」

「ひ、咽喉が渴けば水も飲むさ。俺だつてまだ生きてるんだ。」

「もう、生きてるの、生きてたら、最つと元氣をお出しなさいよ。虎の子の跳廻るやうにさ。あたし牛の様

な人は嫌ひよ。」

「牛でも馬でも何でもいゝまア黙つててくれ、うるさいから、うるさいから。」

「なに、うるさい、へえお鏡舌をしちやいけないの、私の話が氣に入らないの……」

「いや、さう云ふ譯ぢや……」

「だつてうるさけりや俺あちらに行きますわ。何にも

そんなに厭がられる人の傍に居ちや反つて御迷惑です

からねえ……」

窓紗を見詰めてゐた。彈丸のぬけ切つた體はぐつたりと椅子に吸着いて微動もしなかつた。

「あなた、何を鬱ぎ込んでいらつしやるの、如何したの、先刻から印度の象みた

いにガブ／＼水ばかり飲んでさ、ア、何かつた。俺

外科 X 光線科
性病科
科科
安齊外科醫院
平町田町
電話四七五番

井の
手切品
三番
八番
三番
平三電

毛糸と編物用具
全部新色三二一
入荷致しました
相變らず御用命の程……

郡内廿四ヶ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始
診察科目 内科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 産婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科
診察料 輕費診察員 五十錢 共濟會員 無料
藥價 一日分共濟會員 十五錢
入院料 分共濟會員 一圓以上
院長 醫學博士 石山謙 郎
本院 主管 賀澤忠治 郎
衛生試験 醫化學的検査は何でも致します遠慮なく御利用下さい
公休日 日曜 祝日 祭日
尚御不明ノ點ハ各町村長又ハ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下さい
城磐 共濟會
電話六四一番

航空思想普及
郡下模型飛行機競技大會開催
第一、時日：来る二十五日(日曜日)午前九時より煙火合圖
一、會場：磐中グラウンド
參加者は開催前日迄に兩主催店へ御申込の上參加券を御請求願
ます 尚詳細は主催店に御問合せを

時計眼鏡
トキワヤ
平一・電三三九
主催 三幸堂 玩具店
後援 東京 常磐毎日新聞社
模型飛行機 研究會